



本年度の学校努力点は『主体的に学ぶ東桜っ子の育成ー「できた!」「わかった!」「こうしたい!」という「振り返り活動」を通してー』というテーマで授業研究に取り組んでいます。本年度は特に、算数科の学習を中心に、授業の初めと終わりの振り返り活動に重点を置いて取り組んでいます。知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い（続けて、何度も、最後まで）取り組みを行おうとしている姿や、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする（学んだことを生かして～する）姿を目指して授業を進めていきたいと考えています。

今回は、9月12日までに行われた5実践についてご紹介いたします。

○ 6年赤組 算数「分数×分数」

①



【本時のめあて】
 $\frac{1}{\square} \times \frac{1}{\triangle} = \frac{1}{\square \times \triangle}$ が
 成り立つ分数のき
 まりを調べよう。

授業の初めに、「今後も計算のきまりを使って、早く、簡単に、正確にやりたい。」「他にも簡単に解ける法則がないか調べてみたい。」といった前時の授業で書かれた振り返りを数人分紹介しました。

次に、「かけてもひいても答えが同じになる分子が1の分数の組み合わせがあること」を提示しました。子どもたちに新たな分数の規則性に興味をもたせたところで、前時の振り返りを生かしながら、本時のめあて（写真①参照）を設定しました。

②



【適用問題】
 $\frac{1}{1} \times \frac{1}{2} + \frac{1}{2} \times \frac{1}{3} + \frac{1}{3} \times \frac{1}{4} + \frac{1}{4} \times \frac{1}{5} + \frac{1}{5} \times \frac{1}{6} + \frac{1}{6} \times \frac{1}{7}$

本時の学習で見つけた分数の規則性を利用できる適用問題（写真②参照）を提示し、問題の解き方を考える活動を通して、規則性を利用することが早く簡単に正確に計算できることを学級全体で確認しました。

本時の学習の振り返りを行ったときには、「分数の長い計算も、きまりを使うと簡単に答えが求められると分かった。」「今日の学習で出てきたきまりを使うと簡単に計算できるという友達の発表が分かりやすかった。」といった発言をする子どもが見られ、自らの学習を調整しようとする姿を引き出すことができました。

○ 6年白組 保健「病気の予防Ⅰ」

①



【本時のめあて】
 今日からできるむし歯や歯周病の
 予防について考えよう。

授業の初めに「振り返り」シートを基に、前時に自分たちで考えた生活行動の計画が実行できたかどうかを振り返りました。児童からは「寝る時間と起きる時間を決めて過ごせた。」といった振り返りが見られました。

次に、がんや心臓病以外に児童にとって身近な病気をいくつか知らせたところ、むし歯や歯周病が生活習慣病であるこ

②



本時の学習で、むし歯になりやすい歯やその原因・予防方法を確認したことで、自分の生活にあったおやつのかぶり方や歯みがきのタイミングについて考えることができました。

振り返りでは、「だらだらとお菓子を食べない。」「休みの日は、お昼ご飯の後も歯みがきをする。」「早起きをして丁寧に歯をみがく。」といった今後の生活をより良くすることにつながる振り返りをする子どもが多く見られました。

○ 3年白組 算数「表とグラフ」

①



授業の初めに、「表を使って正の字を書くと、分かりやすかった。」「正の字を数にするともっと分かりやすかった。」など、前時の授業で書かれた振り返りを紹介しました。次に、2年生で学んだ絵グラフを提示したところ、視覚的に捉えやすい方法であることを思い出した子どもから、「違う形のグラフがある」という声が上がりました。「もっと分かりやすいグラフに表したい。」と棒グラフへの関心が高まったところで、本時のめあて(写真①参照)を設定しました。

②



グラフを読み取る活動を通して、数量の大小の関係を捉えやすくするための工夫があることに気がきました。最後に、本時の学習で一番大事なところを、黒板にポイントマークを貼りながら確認しました。その後の振り返りでは、「棒グラフは、長さを見れば数の多さがすぐに理解できた。」「数の多い順番に並べたり、一目盛りのかき方を工夫したりする

○ 5年白組 算数「合同な図形」

①



授業の初めに、「3つの辺が分かればかけそう。」「1辺と2つの角が分かればかけそう。」といった三角形のかき方に関する「分かった!」を紹介し、前時までの考え方を振り返りました。その後、「本当にかけるか試してみたい。」「友達の紹介していたやり方を試してみたい。」など、「こうしたい!」に関する振り返りも紹介したところ、子どもの共感

②



合同な三角形をかき活動を通して、前時までに予想したかき方が正しかったことを確認しました。その後、「今日は三角形のかき方を確認したけど、次の時間の勉強はどうなると思う?」と尋ねると、子どもからは、「四角形や五角形になると思う!」「じゃあ、正二十角形もかけるんじゃない?」など、「こ

○ 4年赤組 算数「2けたでわるわり算のひっ算」

①



授業の初めに、これまでに学んだわり算の筆算を解く上で大事な考え方を「ひっさつ技」として振り返りました。「たてる→かける→ひく→おろす」や「商の見当をつける」などの発言がありました。次に、「 $252 \div 36$ 」という問題を掲示しました。前時に学んだ見当づけの仕方($25 \div 3$)で8と見当づけると $36 \times 8 = 288$ で、わられる数よりも大きくなるため、「これでは商が大きすぎるよ。」と商をな

②



様々な問題に挑戦する中で、「商が大きかったときは1小さくする」という新たな「ひっさつ技」を確認しました。その後の振り返りでは、「商の見当をつけたときに大きすぎた場合は1小さくし、それでも大きかった場合はもう1小さくするとよいことが分かった。」「『商の見当をつける』と『商を1小さくする』を生かして問題を解くことができ



本年度の学校努力点は『主体的に学ぶ東桜っ子の育成ー「できた!」「わかった!」「こうしたい!」という「振り返り活動」を通してー』というテーマで授業研究に取り組んでいます。本年度は特に、算数科の学習を中心に、授業の始めと終わりの振り返り活動に重点を置いて取り組んでいます。知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い（続けて、何度も、最後まで）取り組みを行おうとしている姿や、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする（学んだことを生かして～する）姿を目指して授業を進めていきたいと考えています。

今回は、11月14日までに行われた5実践についてご紹介いたします。

○ 1年赤組 算数「たしざん(2)」…10より大きい数の計算を考えよう

【本時のめあて】ブロックをつかって、けいさんのしかたをかんがえよう。

①



授業の初めに、以前のたし算の学習を振り返り、本時の学習課題(8+3)との相違点や共通点を話し合いました。「今までは10より小さい数の計算だったけど、今日は10より大きくなります。」「前と一緒に、ブロックを使えば計算できそう。」などといった意見が子どもから出ました。「まとまりをつくる」「(ブロックなどの)かわりのものをつかう」といったような、これまでの学習で使った「さんすうのわざ」を意識し、本時の学習課題について見通しをもつことができたところで、めあてを設定しました。

②



学習を通して、10のまとまりを作って計算すると分かりやすいということを確認しました。その後、繰り上がりのあるたし算の問題作りを行いました。答えが10より大きくなるように気をつけて、いくつも問題を作る姿が見られました。また、ワークシートを友達と交換することにより、友達と交流しながら、たくさん問題を解くことができました。振り返りでは、「10のまとまりの箱を使えばいいとわかりました。」「まとまりを作れば、20より大きい計算でもできそう。」などの意見や発言が見られました。

○ 1年白組 算数「ひき算(2)」…2けた-1けたの計算の仕方考えよう

【本時のめあて】13-9のけいさんのしかたをかんがえて、ともだちにつたえよう。

①



授業の初めに、「『13-2』の2は、『13』の3より小さいから、ばら(一の位)からひけると分かった。」といった前時の授業の終末で書かれた振り返りを紹介しました。次に、数字を隠した問題文を提示し、どのような計算になるかを想像させました。ひく数を「3」から「9」に変えることで、前時までに学習した計算との違いを見付けさせ、一の位からひけない問題であることを確認しました。「どのように答えを出したらよいか説明できるかな。」と問うことで、友達に伝えたいという気持ちを引き出させ、本時のめあてを設定しました。

②



【適用問題】
□-9の計算カード

本時の学習で行った「9」をひく計算の練習を計算カードを用いてペアで行い、「10のまとまり」から「9」をひく活動を通して、まとめて「9」をひく良さを実感させました。その上で本時の振り返りを行いました。「一の位からひけないときは、10のまとまりからひけばいいことがわかった。」「10のまとまりからひけばいいことがわかった。」

○ 2年赤組 算数「たし算とひき算のひっ算（2）」…3けた+2けたのひっ算を考えよう

【本時のめあて】3けたの数のひっ算のしかたを考えよう！

①



授業の初めに、「 $46 + 57$ 」といった前時までに学習した2けた+2けたの筆算の解き方を確認しました。

次に、本時で行う「 $234 + 57$ 」を板書し、これまでとの違いを考えました。子どもたちからは「百の位がある。」「 200 を超える数がある。」と3位数が新たにでてきたことに気付く発言がありました。そこで本時のめあてを設定しました。

②



これまでの振り返りを生かして、2けた+2けたの筆算と同様に、位をそろえて一の位から順に計算すればよいという見通しをもたせた上で、様々な問題に挑戦しました。その上で本時の学習の振り返りを行いました。「一の位から順にやれば簡単にできた。」「百の位に足す数字がない時は、そのまま下に下ろせば良いと分かった。」「この解き方を使ってもっと大きな数の計算もしてみたい。」といった振り返りをする子どもが見られました。

○ 4年白組 算数「面積」…複雑な図形の花積の求め方を見よう

【本時のめあて】工夫して面積を求めよう。

①



授業の初めに、「正方形や長方形の花積を求める時は、公式を使えばできることが分かった。」という前時の授業の振り返りを紹介しました。

次に、正方形でも長方形でもないL字型の図形を提示しました。すると、子どもから「線を入れて分けると、習った公式を使えるのではないか。」という声が上がりました。「工夫して面積を求めるとは他にないか。」と関心が高まったところで、本時のめあてを設定しました。

②



図形の花積を求めるためには、「分ける」と「つぎたす」方法があることを学級全体で確認しました。また、類似の問題を通して、どちらの方法を使うと、速く、簡単に、正確に解けるか、理由を含めて考えました。その上で、本時の学習の振り返りを行いました。「友達の意見を聞いて、『分ける』の他に『つぎたす』方法があると分かった。」や「問題によってどの方法で解くか使い分けていきたい。」といった振り返りをする子どもが見られました。

○ 5年赤組 算数「面積」…多角形の花積の求め方を見よう

【本時のめあて】多角形を分けて、面積を求めよう。

①



授業の初めに、「図形を三角形に分けたら面積が分かった。」「台形と三角形に分けて面積を出した。」といった前時の授業で書かれた振り返りを紹介しました。

次に、四角形の花積の求め方を考え、発表しました。様々な分け方で解けることを確認した後、五角形の問題を見せ、問題を解けるか尋ねたところ、「解ける。」「同じ分け方で解けそう。」など、子どもが積極的に問題に取り組もうとする姿が見られました。そこで本時のめあてを設定しました。

②



五角形を分けて面積を求める活動を通して、多角形を三角形に分けると面積が求めやすいことを確認しました。その後、次時で解く問題を見せ、今までの学習内容を使って解けないか尋ねた上で、本時の学習の振り返りを行いました。「六角形や七角形も、三角形に分けて面積を求めてみたい。」「次の問題も、三角形に分ければ解けそう。」といった振り返りをする姿が見られました。

ぼくらは太陽



令和5年2月6日



本年度の学校努力点は『主体的に学ぶ東桜っ子の育成ー「できた!」「わかった!」「こうしたい!」という「振り返り活動」を通してー』というテーマで授業研究に取り組んでいます。本年度は特に、算数科の学習を中心に、授業の始めと終わりの振り返り活動に重点を置いて取り組んでいます。知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い(続けて、何度も、最後まで)取り組みを行おうとしている姿や、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする(学んだことを生かして~する)姿を目指して授業を進めていきたいと考えています。

今回は、1月19日までに行われた8実践についてご紹介いたします。

○ 2年白組 算数「九九のきまり」…簡単な1位数×2位数の計算の仕方を考えよう

【めあて】
4×12の計算のしかたを考えよう。

①



<児童の解答例>

- ① 4ずつ増えるから
4×9=36 36+4=40
40+4=44 44+4=48
- ② 12を9と3に分けると
4×9=36 4×3=12 36+12=48

②



初めに「かけ算九九の表では、どんなかけられる数でもかける数が1増えると答えはかけられる数だけ増える。」という前時の授業で書かれた振り返りを紹介しました。

次に「りんごを1人4個ずつ渡します。12人だと何個必要でしょう。」という課題を提示し、4×12という計算の仕方を考えるという本時のめあてを設定しました。九九の表

かける数が1増えると答えが4ずつ増えること(増えたし算)を使ったり、かける数12を9より小さな2つの数に分けてかけ算をし、それぞれの答えを足したりして答えを導くことができると確認しました。さらに、3×12という適用問題に取り組み、理解を深めた上で本時の学習の振り返りを行いました。「9より大きい数のかけ算でも、かける数が1増えると答えはかけられる数だけ増える。このきまりはどんな数のときでも大事だと分かった。」「かける数を2つに分けたら答えを出すことができました。」と振り返る児童の姿が見られました。

○ 2年青組 算数「かけ算(2)」…複雑に並んだものの数をかけ算を使って求めよう

【めあて】
かけ算をつかってチョコレートの数を考えよう。

①



授業の初めに、前時の学習(長方形型に並んだものの数を数える問題)と「はかせからのちょうせんじょう」(L字型に並んだチョコレートの数を求める問題)を見比べ、どこがどのように違うのか考えさせました。本時では、チョコレートがL字型に並んでいるため、数を求めるには工夫する必要があることに気付く児童が多く見られました。

次に、かけ算の学習を通して前時までに習ったことの中から「同じ数のまとまりを見付ける」「かけ算を使う」「丸

②



同じ数のまとまりを見付けると簡単に答えを出すことができました。

「はかせからのちょうせんじょう」の解き方を確認した上で、適用問題として口の字型に並んだアメの数を数えるときも同じように解くことができるか考えました。どんな形に並んでいても、同じ数のまとまりを見付けて丸をつけ、かけ算で考えると簡単に解くことができると実感できた児童が多く見られました。その上で振り返りを行いました。「同じ数ずつのまとまりを見付けることが大切だと思

○ 3年赤組 学活「よりよいおやつを食べ方」…おやつを食べ方について考えよう

①



授業の初めに、普段おやつを食べているか、また、どのようなおやつを食べているかを振り返りました。次に、自分にとってのおやつ役割を考えたところ、「小腹を満たす」「ごほうび」「気分転換」という声が上がりました。そこで、栄養的には小学生におやつは必要ではないことを伝えました。「健康に気を付けながら今後もおやつを食べるにはどうしたら良いか知りたい」という関心が高まったところで、本時のめあてを設定しました。

②



1日分のおやつの適量である200kcal以内でおやつの組み合わせを考える活動を通して、普段食べている量との違いに気付きました。また、食べる時間や選ぶおやつの種類も工夫ができることを確認しました。その上で本時の学習を振り返りました。「いつもは、ポテトチップス1袋食べていて、食べ過ぎだとわかった。これからは、塩や油のとり過ぎにも気をつけて、フルーツやヨーグルトも食べるようにしたい。」といった記述をする児童が見られました。

○ 3年赤組 算数「三角形」…円の性質を利用して、三角形を捉えよう

①



授業の初めに、前時の授業の振り返りを数人分紹介し、「同じ長さの辺が何本あるか」に着目すると三角形が分類できることを確認しました。次に、本時の課題である円の半径を辺とした三角形の図を示し、前時までと違う点を問うと、「円の中に三角形がある。」という声が上がりました。そこで、本時の学習では円の性質を使って考えることを伝え、本時のめあてを設定しました。

②



学習を通して、円の半径は等しいため、示した三角形は二等辺三角形であることを確認しました。その後の適用問題では、弧の重なりが頂点となる三角形の図を見て、「三角形の作図と図が似ている。」と、前時の学習で作図したときも、円の半径の性質を使っていたことに気付くことができました。その後の振り返りでは、「円を使って二等辺三角形をかくとき、円の中心は三角形の頂点になり、そこから出る2つの辺が円の半径になるため、長さが等しくなることが分かった。」といった辺の長さや円の半径の関係に着目した記述が見られました。

○ 4年赤組 音楽「にっぽんのうた みんなのうた（2）」…曲想に合った歌い方を考えよう

①



授業の初めに、前時で聴いた「もみじ」の印象を振り返らせました。そして、改めて旋律や音色に着目して気付いたことを発表させました。児童からは「繰り返しがあがる。」「追いかけてくしている。」という発言がありました。曲想を感じ取ることの大切さを伝えると、児童は「曲の雰囲気にあ

②



どんな歌い方が「もみじ」の曲想に合っているか実際に歌ったり話し合ったりして確認しました。また、その上で二部合唱にも挑戦したことで、他の旋律の歌声にも合わせて気持ちこめて歌う姿が見られました。振り返りでは、曲想に合わせて「なめらかに歌うことができた。」「次は高音に気を

○ 5年赤組 家庭科「持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方」…目的に合った買い物の仕方について考えよう

①

【めあて】
3つの知識を生かして買い物
マスターを目指そう



授業の初めに、前時に学習した買い物に関する「3つの知識」のうちの①買い物は買う人の申し出を売る人が受けて成立する「売買契約」であることと、②様々な支払い方法があることについて、児童の発表から振り返りました。

次に、自分が買いたいものを1つ決め、それをどうやって買う方法があるかを考えさせました。「お店に行き買って買う。」「ネット販売で買う。」など、児童の考えの中で「3つの知識」の③買う方法に関するものを共有していきました。「3つの知識」を意識させた上で、本時のめあてを設定しました。

②



学習を通して、買い物には「店で買う」方法と「店以外で買う」方法があることを理解しました。そして、それぞれのメリットとデメリットについて、発表しました。

最後に、本時の学習を踏まえて、改めて自分が買いたい物と買う方法について一人一人に考えさせた上で、振り返りを行いました。「これからは、インターネットや専門店など、どこで買うかは買うものによって使い分けて、上手に買い物をしていきたいです。」という記述が見られました。

○ 6年白組 算数「図形の拡大と縮小」…四角形の拡大図・縮図のかき方を考えよう

①

【めあて】
四角形の拡大図のかき方を考えよう。



授業の初めに、前時に学習した三角形の拡大図・縮図は5年生で学習した「合同な図形」のかき方を使えばよいことを振り返りました。その後、本時の課題である四角形を示し、「今回は、四角形の拡大図なんだけど、かけるかな。」と問いかけたところ、「三角形がかけたから、できると思う。」「5年生で学んだことを生かせばかける。」など、児童が「できそう」という思いをもち、意欲が高まったところで本時のめあてを設定しました。

②



四角形の拡大図をかくためには、四角形を2つの三角形に分け、三角形の拡大図のかき方を使えばかけるということを学級全体で確認しました。また、拡大図と縮図は性質が同じであることや、どんな多角形でも三角形に分けられることを確認した上で、本時の学習の振り返りを行いました。「これまで習ったことを使えば、四角形の拡大図がかけることが分かった」「今度は五角形や六角形の拡大図に挑戦してみたい」など、既習の知識を使えばよいことに気付いたものや、それを生かし新しい問題にも挑戦したいといった振り返りを書く児童の姿が見られました。

○ そら組 算数「かたちづくり」…いろいろな形を作ろう

【めあて】 同じ形・同じ大きさの△をうごかしていろいろなかたちをつくろう

①



授業の初めに、前時までの学習内容の写真や動画を見ることにより、三角形の組み合わせ方でいろいろな形ができることを思い出したり、学習の見通しをもったりすることができました。次に、めあてに即した、「さんすうの王さまからの手紙がきた」という遊びの要素を取り入れると、「はやくやりたい」「できそう」「自分で形をつくるぞ」といった児童の反応が見られました。王さまの手紙の内容である『三角形の向きに注目すること・動かし方のヒント』から、本時のめあてを設定しました。

②

三角形の色板をどのように並べたり、動かしたりすればよいかを考える活動を通して、「ずらす」「回す」「裏返す」など動かし方を工夫すると条件に合った形を作ることができることを確認しました。また、適用問題ではシルエットで示された形を作るために、児童が自分なりに試し、確認できるように時間を確保することで、じっくり考えたり、繰り返し取り組んだりすることができました。その上で、本時の学習の振り返りを行いました。「自分で考えた」「おもしろかった」といった振り返りを書く児童がいました。「今度はうさぎをつくりたい」と、次時への意欲を示す姿も見られました。